公報

○海軍省達丙第七十五號　海軍一般

明治十六年(四月)丙第三十九號達海軍在監人給與規則中左ノ通加除改正ス此旨相達候事

明治十七年四月廿五日　海軍卿　川村純義

第一條中(收禁中軍人ハ非職俸軍屬ハ其俸)ヲ(軍人軍屬收禁中ハ本)ト改ム

第四條　下士卒准卒被告事件ニ付キ訊問ノ爲メ三里以外ノ地ヨリ旅行セシムル時ハ旅費一里金五錢滯留セシムル時ハ滯留日當下士ハ金三十錢卒准卒ハ金二十八錢ヲ給與ス

刑期滿限ニ因リ放還セラル丶者モ亦同シ但病患ニテ步行シ難キ者ハ醫證ニ依リ旅費ノ外車或ハ駕籠賃トシテ一里金八錢以內ノ現費ヲ給與ス

明治十五年第十號公達ニ因リ地方ノ遞傳ニ係ル者ハ本條ノ限ニ在ラス

第六條中官職ヲ失ハサル者ノ下ニ(若クハ拘留ノ刑ニ處セラレタル者)ノ十五字ヲ加フ

第七條　中(輕)ノ字及ヒ(中)ノ字ヲ削リ禁錮ノ下ニ(若クハ拘留ノ刑ニ處セラレタル者ハ其刑期間)二十字ヲ加フ

第九條　軍人軍屬裁判服務中ハ俸給加俸等總テ之ヲ給與ス

從前ノ第九條ヲ第十條ト改ム

從前ノ第十條刪除

○海軍省達丙第七拾六號　海軍一般

明治十年(一月)丙第二拾四號達通辨加俸自今相廢ス此旨相達候事

明治十七年四月二十六日　海軍卿　河村純義

○海軍省達丙第七拾七號　海軍一般

海軍恩給令第拾八條ニ據リ休暇ヲ命シタル者ニハ其休暇中本俸三分ノ二ヲ給ス可シ此旨相達候事

明治十七年四月二十六日　海軍卿　河村純義

○工部省達第四號　府　縣

道路開設修繕等ノ爲メ電信ノ線路ヲ變換シ又ハ電信柱ヲ移轉センコトヲ請求スル時ハ其向ニ於テ實地ヲ調査シ不得止ニ出ルモノハ多少ヲ論セス轉換可取計候得共其費用ハ都テ請求者ニ於テ支辨可致義ト可相心得此旨兼テ相達置候事

但家屋構造又ハ店頭商業ノ支障等ニテ電信柱ノ移轉ヲ請求スル分ハ此限ニアラス

明治十七年四月廿八日　工部卿　佐々木高行

時事新報

鉄道株券ト公債証書

我輩ハ今日ニ於テ鉄道敷設ノ必要ヲ論スルヲ厭ヘリ何トナレハ鉄道ハ農工商事ニ政治ニ兵事ニ學術技藝ニ凡ソ社會一切ノ人事ニ總テ皆有用ニシテ其ノ効益ノ多サハ如何ナル形容ニテモ猶言ヒ盡シ得サル程ノモノナレハ我同胞ノ人民ニ於テモ鉄道ノ効益ヲ知ルコト最早充分ニ熟シタリト思ハルヽガ故ナリ

依テ我輩ハ鉄道ハ人事社會ニ必要ノモノナリトノ論據ヲ本トシ更ニ一歩ヲ進メテ鉄道ヲ敷設スルニ必要ナル資本ノ出處ニ關シ聊カ思フ所ヲ述ベテ早クコレガ竣功ヲ促サンコトヲ欲スルナリ蓋シ鉄道資本ノ出ツル所ハ一ハ政府ノ國庫ヨリ支給シ又一ハ人民ノ私財ヨリスルノ外ニ其道アルコトナシ尤モ我政府ガ去ル明治五年以來ニ自カラ敷設セシ鐵道ヲ人民ニ讓リ渡シ其ノ代金ヲ以テ他ノ新線路ニ着手シ隨テ竣功スレハ隨テ賣却シ全國重要ノ線路ニ總テ蜘網ヲ張ルニ至リテ始メテ止ムベシトノコトハ曾テ我時事新報ノ紙上ニ於テ切々論告シタル所ニシテ若シモ此事ガ實際ニ行ハレナハ我輩ノ滿足コノ上モナキ仕合セナリト雖モ然ルニ人民一般ニ於テモ官設鐵道ノ拂下ヲ引受ケ充分ニ營業ノ利途ヲ立テ、政府ヘモソノ費用ヲ償却シ將來ニ滿足ナル運轉ヲ爲スダケノ資本ハ不足ナクコレヲ備置カザル可ラザルナリ又ハ事ヲ人民ノ一手ニテ獨立シテ鐵道工事ヲ擔任センカ左ルニテモ同ク資金ナクシテハ叶ハヌ事ナルベシ但シ我日本人民ガ愛國ノ精神ニ富ムノ深キ苟モ國ノ文明富强ヲ增進セシムルノ鐵道工事ニソノ資金ヲ散ロスニ於テ躊躇スルコトナカル可シト公論ハ則チ公論ナリト雖モ經濟社會ノコハ亦自カラ其道アル者ニシテ鐵道ノ工事果シテ利益ノ目的アルマジトナラハ我輩ハ敢テコレニ向テ其資金ヲ投スベシト勸告スルヲ爲サヾルナリ然レドモ今、愛國ノ精神ヲ離レ單ニ利慾ノ一点ヨリ考フルニ將來ノ事業ソノ數、千万無量ナルベキモ中ニ就テ利益最モ多クシテ危險最モ少ナキハ即チ鐵道會社ノ事業ナラン凡ソ事業上ニ危險ノ多キ者ハソノ利益モ割合ニ高クシテ利益少キ者ハ危險必ズ少ナキハ經濟上ノ定則ニシテ政府發行公債證書ノ利子ノ常ニ低キモ亦コレガ爲メナルハ言フニ及バヌコトナレドモ事業ノ危險少ナキニ割合セテ利益ノ格外ニ多キハ鐵道會社ノ株券ニ若クモノアル可ラズ蓋シ營業ノ業務ニハ滊船會社アリ銀行會社アリ或ハ株式取引所或ハ造船會社等其數實ニ多シト雖モ競爭ノ敵手甚ダ稀ニシテ且ツ信用失敗ノ憂ヘ少ナキハ唯鉄道會社ニシテ其株券ハ安全ノ点ニ於テ政府發行ノ公債證書ニ亞ク者ナルベシ

鐵道株券ヲ所持スルノ安全ハ殆ンド公債證書ヲ所持スルニ均シク其利益ノ点ニ至リテハ我輩ハ公債證書ヲ所持スルヨリモ寧ロ鐵道株券ヲ所持スベシト勸告セザルヲ得ザルナリ尤モ日本ニテ鐵道株券ト公債證書トノ比較ニ付テハ一方ニ公債證書ハアレドモ鐵道株券ハ唯昨年七月開業シタル日本鐵道會社ノ株券アル許リニシテ是迄モ營業日尚淺ク特ニ創業ノ始メ費用多キコトナレハ敢テ論スルニ足ラズ依テ外國ノ例ヲ假リ英國ノ公債證書ト鐵道株券トヲ比較シ以テ日本人民ニ鐵道株券ヲ所持スルヲ勸ムルノ論素ヲ作ラン夫レ英ハ富國ナリ其資本ノ饒カニシテ金利ノ廉ナルハ世界上ニ無類ニシテ日本トハ同日ノ談ニ非ズ日本ニ於テハ公債利息ノ平均ハ七分ナリト雖モ英國ニテハ平均三分ニシテ中ニハ二分半ニ下ルモアリ甚廉ナリト云フベシ然ルニ其鐵道事業ノ利益ニ至リテハ許多ノ會社アリテ損益勘定各々一様ナラザレドモ昨千八百八十三年間ニ重ナル十六ノ鐵道會社(會社ノ名ハ煩ヲ厭ヒテ省ケリ)ノ平均利割ハ五分四厘ニシテ特ニ後半期ノ平均利割ハ六分二厘五毛ニ達シタリ又右ノ十六鐵道會社ノ內、特ニ最高ノ利割ヲ得タリシハ北東鐵道會社ノ八分二厘五毛、北龍動、北西兩會社ノ七分五厘ナリトス又此十六個ノ會社ニ於テハ千八百八十年ニ五分六厘二毛半、八十一年及二年ノ兩期ニ五分五厘ノ利割ヲ得、連年ノ平均ハ五分五厘ヲ下リタルコトアラズ蓋シ五分五厘ノ利益ハ日本人ニ取リテ其微少ニシテ鉄道營業ノ利得大ナラザルニ似タレドモ是レ高利息ニ慣レタル日本人ノ眼ニテ見レバコソ左程ノ利得トモ思ハザルナレ平均三分ノ公債証書ヲ所持スル英人ヨリ之ヲ見タラバ五分五厘ノ利益ハ殆ント三分ノ倍ニシテ鉄道會社株券ハ果シテ利得多キ者ナリト覺悟スベキハ勿論ナリト云フベシ斯テ鐵道ノ株券果シテ利得多シトノ感覺一タビ英人ノ腦漿ニ浸漸セバ益々以テコレニ其資本ヲ投ズルハ必然ノ勢ヒニシテ英國ノ鐵道能ク今日ノ盛大ニ至リタル所以ハ實ニ鐵道ノ利得多クシテ世ノ資本ヲ引付タルニ由ル者ナラン蓋シ三四分ノ公債ヲ所持スル國民ガ五分五厘ノ利益ニ感服スルノ尺度ニ割合セテ之ヲ實利七分ノ公債ヲ所持スル日本人民ノ上ニ遷スキハ鐵道利益ノ割合ハ一割以上ニ當ル勘定ナレドモ事實、日本ノ鐵道ハ正ニ草創ノ時代ニシテ始メニ成ル所ノ一二若クハ三四ノ鐵道會社ガ全國中貨物乘客ノ最モ多キ勝地ノミヲ占取セバ其局所ニ利得スル所或ハ一割三四分ノ上ヲ踰ユルヤモ測リ難シ然リト雖モ念ノ爲メニ仮ニ日本ノ鐵道株券ニハ一割二歩ノ利アリトスルモ之ヲ公債証書ヲ所持シ若クハ今時ニ故ラニ買込ムニ比スレハ其利得ノ多キコ非常ナラン前ニモ述ベシ如ク我國ノ鐵道事業ハ未來ニ屬スル故ニ實際ノ利益ノ多少ハ預メ之ヲ今日ニ計算スル能ハズト雖モ兎ニ角ニ七分ノ利益ヲ踰ユベキハ勿論、一割乃至一割三分ノ利割アランコトハ我輩之ヲ外國ノ先例ニ照ラシ日本ノ現狀ニ參考シテ必定信然ナルヲ知ルナリ然ルヲ目下ノ不景氣トハ云ヘ前途ニ箇程ノ利益アル鐵道事業ノ株券ヲ買フノ用意ナク又ハ新タニ此工事ヲ起スノ思案モナク唯悒遽シテ公債証書ヲ求メントスルガ如キハ人氣既ニ鐵道ニ傾クモ事尚新ラシクシテ未タ利益ノ點ヲ深ク考ルニ遑アラザル者ナランノミ

(未完)

電報

○四月廿五日龍動發　英國本年度財政の豫算にては歲入を八千五百五十六万二千五百磅、歲出を八千五百三十一万二千五百磅と定めたり尤も租稅には變革なかる可し

雜報

○開業式臨御　兼て本紙上にも記載したる如く來る五月一日日本鐵道會社に於て上野高崎間鐵道開業式を施行するに付　聖主よは同日午前六時三十分御出門同會社に臨御高崎停車場に於て御晝餐遊ごされ即日還幸あらせらるゝ旨愈去る二十六日仰出されたり尤も雨天は御延行と定められたるよし

○行幸御延引　聖上よは昨日午後より戸山ゟて催せし春季共同競馬天覽の爲め行幸在らせらるゝ筈の處御都合よ依り俄に御延引仰出されたり

○綿貫警視副總監　二府十五縣地方の警察事務視察の命を受けたる同副總監には一昨日午前八時新橋發の汽車よて出發せり右よ付大迫同總監、佐和、江口兩一等警視以下各署

察署長、巡…
送りたり
○歸京並出…
記官、岡田…
京し、委に
書記官は曾…
○警部長上…
岐阜縣警部
爲臨氏之全…
○警視官數…
杉本、小川の
日念當地出
○警察諸問…
前號に記せ
て一兩日間
○家督　東…
へ去る二十
○變態　大…
瀬同大輔…
上京中なる
莊に招待し
○グラッド…
首相グラッ…
より斷然辭…
取沙汰し又
すと云へり
ては內閣中
が爲めに內
氏は昨今議
如何なる事
との說盡信
○米公使
氏は此程所
到着したる
○將有事於…
ツセル、ヨン
四五日頃に
を李鴻章あ
初旬に擬り
使は之よ答
と昵はすた
りれ車ろ天
李氏も既に
ら老佛兵の
ながら之を
に取りては